

愛西市男女共同参画推進懇話会 会議録

会 議 名	令和4年度 第2回 愛西市男女共同参画推進懇話会
開 催 日 時	令和4年11月22日（火）午後2時から午後4時まで
開 催 場 所	愛西市役所南館 2階 会議室2-5
出 席 者	別紙のとおり
欠 席 者	2人
協 議 事 項 等	●協議事項 1 令和4年度の取り組みについて 2 次年度以降の取り組みについて 3 その他
公開/非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍 聴 人 の 数	0人
会 議 資 料	<ul style="list-style-type: none">・ 会議次第・ 資料1 12月号広報掲載案・ 資料2 男女共同参画啓発パネル（掲載省略）・ 資料3 令和3年度のパネル展示の様子・ 資料4 サテライトセミナーチラシ・ 資料5 津島市ジェンダーチェック表（掲載省略）・ 資料6 「女性活躍推進講座（デジタル）」について（掲載省略）
審 議 経 過	別紙のとおり

男女共同参画推進懇話会委員

役 職	氏 名	備 考
会長	日 置 雅 子	愛知県立大学名誉教授
委員	山 田 彰 子	愛西市女性の会 会長
委員	石 原 一 孝	愛西市総代会 会長
委員	照 井 緑	愛西市PTA連絡協議会
委員	加 藤 明 実	愛西市商工会
委員	大 江 千 恵 子	人材育成セミナー修了生
委員	吉 本 貴 代 子	公募委員

事務局

役 職	氏 名	備 考
市民協働課長	丹 羽 久 美	
市民協働課主事	今 田 茉 里	

審議経過

発言者	内容（概要）
市民協働課長	<p>あいさつ</p> <p>〈市民協働課長あいさつ〉</p> <p>事務局から本日の委員の出欠についてお知らせします。若山委員と大野委員から欠席のご連絡をいただいておりますので、ご報告します。</p> <p>この会議は、「愛西市審議会等の会議公開に関する要綱」に基づき、「愛西市男女共同参画推進懇話会 会議運営要領」を定め、公開することとなっております。会議の公開は、愛西市のホームページで行いますので、ご承知置きください。なお、本日の会議についてホームページでお知らせしましたが、傍聴希望者はございませんでした。</p> <p>それでは、開会にあたり 会長の日置様よりごあいさつをいただきます。</p>
会長	〈会長あいさつ〉
市民協働課長	続きまして、本日の会議資料の確認をさせていただきます。
	〈資料の確認〉
	それでは、これからの進行は、会長さんをお願いします。よろしく願います。
	<p>1. 令和4年度の取り組みについて</p>
会長	それでは、次第1の「令和4年度の取り組みについて」を議題とします。
事務局	事務局、説明願います。
	〈資料1～4を利用して説明〉
	<ul style="list-style-type: none"> ・女性の再就職に関する無料相談の実施 （第1回の実施状況および第2回の実施予定について） ・サテライトセミナーの開催 ・男女共同参画の啓発パネルの展示
会長	事務局から令和4年度の取り組みについて説明がありましたが、取り組みの内容やセミナーの周知方法について、何かご意見やご質問のある方はいらっしゃいますか。また、チラシの配布に協力いただける方はいらっしゃいますか。
委員	セミナーについてですが、チラシの印刷はどれくらいを予定していますか。
事務局	印刷は事務局で行うので、予算の範囲内であれば増やせるため必要枚数分印刷する予定です。現状の配布予定としては、市内の児童館、子育て支援センター、公民館、体育館、図書館、保健センターなどを予定しています。
	今挙げた場所以外で、ここであればご夫婦の方に見てもらえるのでは、という場所があればご提案いただくと助かります。
委員	民生委員さんの会議でお配りするのはどうでしょうか。集まりの時そういう配布物が多い印象がありますし、民生委員さんからも配ってくださる方もいるかもしれません。
事務局	ありがとうございます。担当課に確認してみます。
会長	チラシの印刷はカラーで行うんですか？

事務局 委員 事務局	<p>色紙に白黒印刷を予定しています。</p> <p>パネルのサイズはどれくらいですか？</p> <p>大きさはA3くらいだと思います。何枚もパネルがあるので、組み合わせて壁にぶら下げようになっています。一つのテーマでほしい10枚くらいです。今回は、「みんなで！家事」と「どれだけ増えてる？育メン、介護メン」を借りて、展示する予定です。</p>
会長	<p>セミナーの周知については、ホームページを作成し市のSNSで周知を図る予定ですが、やはり見る層に限られるため、広くお知らせできればと考えています。集まりの機会に直接お渡しできれば来ていただける確率も上がるかと思うのですが、なかなかどういう集まりがあるか把握しきれませんので、教えていただければと思います。</p>
委員 事務局	<p>子育て中の方は忙しいので、なかなかパネルを見るためだけに市役所に来るのは難しいかもしれませんね。こちらのパネルを印刷物として配ることはできないんですか。</p> <p>学校経由などで配布してもらえれば、親世代も見ることができますね。</p> <p>残念ながら、こちらのパネルは市役所作成物ではないため再配布はできないのですが、サテライトセミナーのチラシであれば学校に配布することはできますので、そちらは検討しようと思います。</p>
会長 委員 委員	<p>また、このパネル自体はウィルあいちのホームページで見ることができますので、市のホームページ等からそちらにリンクを繋ぐことは可能です。</p> <p>今回ご提案いただいた、民生委員とPTAへの配布については担当課に確認し、いつ集まりがあるのかを聞いて調整します。</p> <p>他に、会議などでチラシを配布できる方はいらっしゃいますか。</p> <p>小学校でよければ確認します。</p> <p>小さな集まりでもよければ、高齢者の方が集まる機会が何度かありますのでそこで配ります。直近で来週です。</p>
会長	<p>では、そちらで配布できるように事務局は調整をお願いします。</p> <p>その他、今年度の取組について皆さんはご意見等よろしかったですか。</p> <p>事務局へ確認ですが、出張相談は第1回が終わったということで良かったですか。</p>
事務局	<p>第1回が終わりました。募集開始日にすぐお問い合わせがあり3枠の予約が埋まったのですが、相談日までの間に就職が決まった等でキャンセルがあったため次の方に順番が回ったりして、最終的に6人ほどの方から問い合わせがあった状況で、需要があると感じました。第2回は、12月1日から予約受付を開始します。</p>
会長 事務局 会長	<p>こちらの会場はウィルあいちですか？</p> <p>市役所です。近場の方が来やすいように、出張相談に来ていただく形です。</p> <p>それなら愛西市の方でも行きやすいですね。</p> <p>それでは、サテライトセミナーにたくさんの方が来られるように準備を進めてください。また、委員の方でセミナーに参加できる方がいれば、よければ参加いただくようお願いいたします。</p>

会長	<p>2. 次年度以降の取り組みについて</p> <p>続きまして、次第2「次年度以降の取り組みについて」を議題とします。</p>
事務局	<p>事務局、説明願います。</p> <p>〈事前送付資料を利用して説明〉</p>
委員	<p>〈委員による意見発表・意見交換〉</p> <p>コロナ禍で生活が一変し、私の地域でも地域活動の多くは中止となり、そのまま廃止となる行事もあり、コミュニティが衰退していていると感じています。また、人と接しなくなっていることで、人に対する優しさ、思いやりが薄れ、生きにくい社会になっていると多々感じています。</p>
委員	<p>社会でも家庭でも、男女共同参画の推進の必要性が高いと考えています。そこで、対象別に啓発をすると良いのでは、と考えました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男性の育休取得は、企業の特に上司に向けて働きかける。 ・企業の福利厚生に女性の視点が含まれていないところがある。担当に女性を起用してはどうか。 ・地域のコミュニティ作りのため、家庭内で意識改革をするために、啓発グッズを作ってはどうか。 ・市内でいろいろな委員をやっている方々にご協力をお願いして啓発する。
委員	<p>今まで私たちの意識の中に長い時間かけて形作られた性別に基づく固定的な役割分担意識を崩すのは難しい。</p> <p>こうした固定的な役割分担意識は、人々が地域における活動を行うにあたって選択や実現の妨げになっているのではないのでしょうか。</p> <p>このような固定的な役割分担意識を取り払うには、将来地域のリーダーとして活躍が期待される30代の方を中心に会議やセミナーを開催してはどうでしょうか。また、それと反対に、シニア男性を対象とした講座等も行っはどうでしょうか。</p> <p>男性の多くは仕事中心の生活で家庭や地域に関わってこなかった結果、一人暮らしになった場合に日常生活に支障が出てきたり、地域で孤立したりといった問題が生じやすい。そういったシニア男性を対象に、衣食住に関わる技術を身につけ自立して豊かなシニアライフを過ごすための講座や料理、整理整頓術、買い物のコツ等を学ぶ講座を実施したらどうでしょうか。</p>
委員	<p>第3次、第4次計画に携わってきましたが、参画に関する情報発信に力を入れる必要があると思います。広報あいさいやSNSでの発信頻度を上げてアピールしてはどうでしょうか。</p> <p>他の啓発記事のように毎月少しずつでもいいので、これまでやってきたアンケートの結果や用語説明、家庭内の役割分担についてなど、目に見えるところに発信して、自分でチェックできるようにしたり、結果を載せたりして、もっと知りたい人はQRコード等でホームページが見れるようにひも付けして、参画に関する情報を見て知ってもらえるように、発信の頻度を上げると良いと思います。</p>
委員	<p>男女共同参画について、自分の家庭を振り返ってみたが、自分は結構好きにやらせてもらっているな、と。料理を作るのが面倒だと家族が言えば、自</p>

	<p>分は作れないのでじゃあ外に食べに行こうとは言っていますが。</p> <p>地元の地域活動についてだが、今年は3役は女性についてもらい、活動している。前年班長だった女性が今年は会計、というように積極的に登用しています。現在はコロナ禍なので、町内に配布物を配る際も素手ではなくビニール手袋をすべきだとか、女性役員の方が細やかなところに気づいて声をかけてくれるので、これまで男性ばかりだった時は気づけなかったところに目が行き届くようになったと感じています。</p> <p>自分は炊事洗濯等が出来ず、人様に男女共同参画について言えないとも思うが、やはりお互い出来るところでの助け合いが必要だと思います。</p>
会長	<p>地域の活動で、声をかけられても女性はどうにも遠慮してしまうが、そういう風に役職をお願いされて、助け合える状況だと良いのかもかもしれませんね。</p>
委員	<p>私のモットーとして、「初めてなので無理です」ではなく、「初めてだけど頑張ります」というつもりでいつもやっています。ところが皆さんは「初めてだからそんな大役無理です」とおっしゃる方が多い。初めてでもやっている方はいるのだから、やろうとすれば皆協力してくれる、協力し合ってやりましょう、と説得して一緒に頑張っています。</p>
委員	<p>男女共同参画というのはどれだけ勉強しても、分かっているようで、分からないことが多いものであると感じています。完全に男女平等に出来るのであればそうしたいが、なかなかすぐにはそうもならないので、少しずつでもいいから進めていきたいと考えた時に、男女共同参画についてPRする物が欲しいと考えました。</p> <p>たとえば、ミニカレンダー付のPRカードのような、実用性もあって、男女共同参画について解説もできて、配れる物があるといいなと思いました。</p> <p>先ほどのお話にもあったように、女性の地域活動等への参画はまだ少ない。私の地域も女性の役員さんが少しずつ増えてきて喜ばしいことではあるが、もっと女性の少ない場に女性を増やし、逆に男性の少ない場には男性を増やす、というようにしていきたいと思います。</p> <p>たとえば、介護の場にはまだまだ女性が多いですから、こちらには男性の参入が必要とされていると感じます。</p>
委員	<p>子育てしている親の立場としての意見になりますが、皆さんのご意見にもあったようにこれまでの習慣や価値観を変えるのはすごく難しいというのはよく分かります。</p> <p>この会はとても良い集まりだと思うのですが、私がここで得た知識やお話をPTAとして教育現場の方にも届けられているかという点、そこまでの伝達はできていません。教育現場に、もっと男女共同参画について広めてほしいと感じます。</p> <p>子ども達は素直で、ピュア。男女平等という価値観は、これからの子ども達が大人になっていくのに必要だと思います。PTAとして市のいろいろな人に接する機会があるのですが、教育委員会などを巻き込んで、教育現場にこの価値観を持っていければ、と思います。とても大変でしょうし、具体的にどうすれば、というところまでは考えられていないのですが……。</p>

<p>会長</p>	<p>こういう場でみんなで集まって、こういうことを考えているんだよ、と子ども達に伝えていけたらいいなと思います。</p> <p>皆さんからいろいろなご意見が出揃ってきました。</p> <p>「男女共同参画」というのは言葉が難しいので、聞いただけでは「関係ない」と思ってしまう住民の方もいるなかで、施策を進めていくというのは大変だとは思いますが、まず何をやるかというのは対象ごとに違ってくると思うんですね。委員の方から出たように、子どもたちを対象にするというのがありますし、子育て中の親子、特に父親と母親を対象にするという方法もあります。それからいわゆる働く場、企業への施策ですね。市内でも、中小企業の社長が女性というのは増えてきているのではないのでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>そうですね、増えていると思いますし、夫と両輪で取り組んでいる女性も多いです。</p>
<p>会長</p>	<p>夫婦二人で取り組んでいるわけですね。あとは、先に話題にあがった高齢男性。現状はまだまだ固定的な性別役割分担意識がありますし、このコロナ禍において家庭内での家事負担は話題にもなりましたが、特に食事面は女性が担っているというのが多いです。この役割分担の偏りは無くしていかなければならないですが、現状そう簡単には直りません。男性は、配偶者の女性より自分の方が先に亡くなると思っっている方が多いと聞きます。確かに女性の方が平均寿命は長いですから、そうなる可能性が高いです。ですが、妻に先立たれて男性が一人残された時、子どもたちが側にいればまだいいですが、そうではなかった時、高齢の男性が1人になった時に生活的に自立できるかどうか。これは高齢女性の場合でもあり得る状況ではありますが、高齢男性がそうなる場合の方が多いです。このように、年齢別に施策内容は変わってきます。</p> <p>一度に全部はできませんから、毎年度一つか二つずつやってみるというようにしてみても良いですね。</p> <p>今は小・中学校においても、何らかの形で男女共同参画の授業等を学校教育課の方が行っているかと思いますが、例えばよくある取組として、男女共同参画の標語を子どもたちに作ってもらおうというものがあります。5・7・5のフレーズで作って、学校を通じて表彰を行うというのが他の市町ですとありますね。子どもだけで作らずに、家庭に持ち帰って家族で話し合っとなれば、男女共同参画について話し合う機会にもなります。学校と連携が必要ですし時間もかかりますから、大変かもしれませんが。</p> <p>こちらを集計し、選抜し、こういった会議の場で投票して選考する、というのは、一宮市や他の市町でも行っていると聞いています。</p>
<p>事務局</p>	<p>愛西市には、男女共同参画の啓発グッズというものが現状ないんです。今お話しいただいた標語作りのように、男女共同参画に因んだ標語を作ってそのカルタを作ってみたいという話も、事務局側でいろいろ考えているときに出てきたりもしました。親御さんが標語を作り、お子さんが絵を描くといった感じで、カルタ完成までに何年もかかる計画になるのでちょっと時間と手間がかかりすぎるかなということで夢物語として話ただけではあったの</p>

<p>会長</p>	<p>ですが。せっかく標語を考えるのであれば、飾って終わりではなく何かに使えると良いなと思ったのがきっかけです。</p> <p>カルタは例えではあるのですが、今後啓発グッズを作るとしたら、例えばこういうのがあると良いというのが出てくると、次年度以降の計画や予算を立てる時に参考にできると思います。今日の会議で、具体的に来年はこれ、再来年はこの事業、というところまでは決めようとは思っていないのですが、次回の懇話会で考えることができるように今回いろいろなご意見がもらえれば、と思います。</p> <p>これからのことを考えるのであれば、子どもたちへの施策を優先すべきだと思いますね。特に、女の子にはできるだけ経済的な自立意識を身につけてもらうというのは大切だと思います。あと男の子には、生活面での自立について教えていく。今の小学生の子どもたちが大人になる頃には、日本の経済はどうなっているのかというと、例えば専業主婦というありかたはほんの一部の贅沢な存在になっていると思います。男性の生涯賃金がどんどん低下している今、妻である女性も働いて補わなければならない。2009年ぐらいには、共働きと片働きが一緒ぐらいになって、それ以降は共働きが増える一方です。そういう状況に将来的にはなっていく。制度も変わっていきます。現在主流の世帯単位の考え方も、ひょっとしたら個人単位に変わっていくかもしれません。ヨーロッパの方では、1970年代には個人単位、つまり自分で働いて賃金をもらい、ちゃんと税を納め、夫の遺族年金ではなく自分の年金をもらうという状態になっていったわけです。日本も長期的にはそう動いていくかもしれません。今大人の我々は今の制度を享受して生きているわけで、これはこれでいろいろな問題もありますが、これからの子どもたちにはそういった将来を見据えたことを教えていかなければいけませんね。</p>
<p>事務局</p>	<p>そうですね、男性の生活面の自立という点では、市の事業ですと健康推進課と産業振興課の行っていた、就職する高校生の男子が一食当たりの栄養や分量を学ぶ「男子自立クッキング」という事業があったと思いましたが、女の子向けでそのポジションにあたる事業が、今事務局として思い当たる範囲では無いと思います。</p>
<p>市民協働課長</p>	<p>子どもが小さな頃からそういった男女共同参画の意識を身につけてもらうのは必要だと思いますので、現在も学校教育課の方が学校現場で何らかの形で教育を行っているかとは思いますが、市としてそちらのやり方も踏まえて合わせつつ、これから子どもたちが成長していく過程の中で男女共同参画を意識してもらえるのでは、と考えています。</p>
<p>会長</p>	<p>教育部局と調整し、次回の懇話会でお話しできれば、と思います。</p> <p>そうですね、お願いします。</p> <p>後は、市としての情報発信についてですね。男女共同参画に関してなにか面白い情報を随時発信できれば、市のホームページを見ると面白いものが載っている、自分たちの知りたい情報が載っていると見てももらえると思います。日本人は受け取るのはともかく発信の仕方が下手といいます。行政も同じなんですね。特に愛知県は発信の仕方が上手くないですね。</p>

事務局	<p>私は紙媒体の方がありがたいですが、若い子はインターネットの方が見てくれるでしょうし、どんな媒体にするのかも難しいですね。大学生の子から、皆スマホなのでパソコンが使えないと聞いたことがあります。せいぜいタブレットで、普通のパソコンを持っていないんですね。</p> <p>愛西市も情報発信がなかなか上手くできていません。これまでも広報紙には「男女共同参画のすすめ」という記事を年に数度掲載していたんですが、男女共同参画のホームページにはまとめていなかったもので、偶然紙面で読んでくださった方は知っていても、興味をもってホームページを見た人には伝わらないという状況でした。育児休業制度やパープルリボン運動など、これらは最近ホームページにまとめなおしたんですが、これ以外にももっと頻度高くこまめに発信していかないと、という気持ちでいます。</p>
会長	<p>育児休業制度については知ってほしいですね。改正育児休業法が施行されてまた制度のバリエーションも増えました。男性でも女性でも子どもが出来たら育児休業制度を使うかどうか上司が声かけをするということになりましたし、取りやすい環境が整ってきましたね。それでもまだまだ、育休を取った男性が何をすればいいかわからないなどの問題もありますが、若い人が子育てに携わっていけるようになるというのはいいですね。</p> <p>今日はたくさんの意見が出てきましたが、事務局の方で精査していただいて、次年度以降に向けて何ならできるのかまた考えてもらえればと思います。</p> <p>他は、ご意見はよろしかったですか。それでは次に、参考に津島市のチェックシートを用意してもらっているようなので、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>今後の取り組みについては、事務局の方でも何かできればと思っいろいろ調べているのですが、愛西市にもこういうのがあると良いのではと思った事例を2つ紹介します。資料5をご覧ください。</p> <p>先ほど話している中で、ジェンダーの用語チェックや役割分担チェックなどはどうかという話もあったのですが、お隣の津島市でもジェンダーチェック表を作っているようなので今回お持ちしました。</p> <p>まず「ジェンダー」という言葉の説明があり、自分がどれだけジェンダーについて思い込みがあるか、家庭や地域、学校、職場などの生活の場面ごとにチェックすることができるようになっています。せっかくなので、一度やってみましょう。5分ほど時間を取りますので、それぞれ設問に目を通していただき、考えが一致したらチェックをしてください。特に発表はしませんので、自分の心のままにチェックしてみましょう。</p> <p>いかがでしょうか。何個チェックがつかましたか？判定結果については、次のページに記載があります。チェックが5項目以下、6～14項目以下、15項目以上、の3段階でコメントが記載されていますので、当てはまるところを読んでみてください。</p>
会長	<p>いかに我々にはジェンダーバイアスがかかっているか、そしてそれがアンコンシャス・バイアス、無意識のものであるのか、というのがわかりますね。</p> <p>こういうジェンダーチェック表は、愛西市のものを作るという予定はない</p>

事務局	<p>んですか？</p> <p>現状はこういうのは愛西市にはないんですが、紙媒体でこういうものがある、ジェンダーとは何かとか、アンコンシャス・バイアスって何だろうと 思っている人が、実感を得られたり、興味を持つとっかかりになると思うので、作ってみると良いのではと思っています。</p> <p>今回使用した津島市のものはホームページに掲載のあったものですが、紙媒体も市内施設に配置しているようです。こういったジェンダーチェック表というのは、他の市町村や県、国でも作成してそれぞれ掲載していたりします。こういうのを紙媒体で作るか、電子媒体でやるか、そこもまた検討が必要ではあるのですが、例えば作成後に一部抜粋して広報紙に載せ、詳細はホームページで、というように広い層に見てもらえる機会も作れるのかなと考えています。</p> <p>こういうのがあると良いな、という話になれば、今後の懇話会で設問等を考えていければと思います。</p> <p>実際委員の皆さんはやってみてどうでしたか？ こういうのがあると良いと思いますか。</p>
委員	<p>こういうのが今度のセミナーの時もあると良いですよ。ここまで長くなくてもいいですけど、アンケートみたいなのがあったらいいですね。</p>
事務局	<p>そうですね、アンケートはやる予定ですがセミナーの感想くらいの内容を考えていたので、それとは別にこういうのも配れば良いですよ。パネル展示の会場とかにもこういうのが置ければ、パネルを見た前と後で意識が変わると思いますし、見るだけよりも実際に手を動かしてやってみた方が皆さんの身になると思うので、こういうのがあると便利だと思います。</p>
会長	<p>今回は津島市のなんですよ。こちらのようA4の1枚半～2枚くらいに収まるくらいのボリュームがちょうどいいと思います。多くても読んでいただけないのでね。</p>
事務局	<p>もし今回のセミナーで配るとなれば、国が作っているような啓発チラシとかであれば配れるかなと思いますので調べてみます。愛西市オリジナルのチラシがいつか置ければいいんですが。</p>
会長	<p>ちなみに、津島市の方が愛西市より人口が多いんですか？住んでいる人の感覚が違うということはあるんですか？</p>
事務局	<p>同じくらいの規模感です。津島市と愛西市は隣接しており、生活圏も重なっている、そう市民の感覚が違うということはないかと思えます。</p> <p>今回持ってきたのは近隣の例ということで、津島市と同じものを作るというわけではないですが、男女共同参画に興味を持つきっかけになるものということで、こういうものを作ればとは思っています。</p>
会長	<p>そうですね、こういうジェンダーチェック表を作って、市のイベント等がある度に配ってしまえば、自分で採点ができるのでアンケートと違って回収する必要がないですし、自分で気付くきっかけになると思えますから良いですね。一度作れば、数年で劇的に変化はしないと思うのでしばらくは使えそうです。</p>

事務局	<p>紙で作って、ホームページの方にも情報を充実させられると良いですね。ホームページといえば、現状男女共同参画に関する用語説明のページがなく、プランの中の最後の方に掲載しているだけなので、それについてもページにまとめられると良いなと思っていますので、そちらは進める予定です。</p> <p>皆さんスマホ主体だと思うので今まで以上にホームページの充実は必要だと思いますが、やはり実際の集まりで活用できるのは紙媒体なので、そちらの検討も進めていこうと思います。</p> <p>そのほかに、市でこういった講座を行ってはどうかというご提案を業者様よりいただいておりますので、参考にご紹介させていただきます。</p> <p>〈資料6を利用して説明〉</p> <p>何故こういう物のご提案があるかといいますと、現在、国の政策でも、コロナ下における女性の就労を支援し、女性の経済的自立を促すことを目的に、女性のデジタル人材を育成することに重点的に取り組むと方針が示されています。</p> <p>愛西市では、そういった分野での恒常的な講座を現在行えておりません。市民の皆さんに需要があるのかどうか不明瞭ではあるのですが、委員の皆様はどう思われますか。</p> <p>先ほどまでのお話で、もう少し若年層の想定ではありましたが女性の経済的自立についてのお話もありましたし、パソコンが使えない若い方が多いというのもありましたので、この講座は20～30代ぐらいが対象で少し発展的な内容である印象はありますが、スマホだけでいろいろなことが出来るようになる講座というのは需要があるかもしれないと思っています。</p>
委員	<p>私はすごくいいなと思いました。愛西市は田舎で交通の便も悪いので、こういうので学んで在宅ワークができるようになれば良いですよ。市としてインターネット環境が良い方なのかは少しわかりませんが、今後愛西市のネット環境が整って、在宅ワークに向いている環境ですと市外からの移住者向けにアピールできれば、そういうまちとして人口増にもつながるかもしれないですね。あとは、子育て中のお母さんが在宅でアルバイトや副業をする時にそういう知識があると良いのではと思っています。</p>
事務局	<p>そうですね、最近はインスタグラマーなど、情報発信力があることを強みにしている人が多いと思いますし、特殊な技術や資格がなくても、インスタを使いこなせるだけで集客力が全然違うという状況にもなるようです。</p>
会長 事務局	<p>これは金額的にはどれくらいかかるんですか？</p> <p>講師料が1回につき5万円くらい、パソコン等の機器のレンタル料は別途かかります。</p> <p>もし実行するのであれば、受講者の方からいくら受講料をいただくという可能性もありますが、まだお話をいただいただけなのでそういった詳細は何も決まっていない状況です。</p> <p>この案だと全5回の講座なので5回分の講師料がかかってしまうのですが、これを3回に内容を圧縮したりとかも可能だとは言われていますので、そのあたりは今後交渉していくことになるかと思っています。</p>

委員	3回でも15万かかるわけですから、受講料をいくらもらうかとかの調整が難しそうですね。
会長	市からの援助はあるんですか？
事務局	そのあたりはまだ何も決まっておられません。というのも、事務局の中だけではこれが需要があるのかどうかすら判断がつかかねましたので、委員の皆様に見ていただいてどう思われるかを聞いてみたかったというところです。
会長	若い人には良いと思いますね。お勤めの人でなくても、自分の活動のために受けたいという方もいらっしゃると思いますし。
委員	講演会やセミナーというようにお話を聞く場も良いと思いますが、実践的で直接身になるような活動に今後力を入れていくというのは良いと思います。
委員	ただ、やはりあまり高いと予算も出ませんよね。
事務局	そうですね、出来れば行政の行う講座なので一般のものよりは受講料を安くしたいとは思いますが、なかなか難しいところです。
委員	お手頃な価格でこういう講座が受けられるならやろうかな、という人は絶対にいると思いますね。
事務局	そうですね。現時点では、こういった講座を一般で受けようとした時にいくらぐらいかかるものなのか、ということも分かっていないので、市場価格も調べてみようと思います。
委員	この講座は資格が得られるというのも良いですね。履歴書に書けますね。
事務局	それとこれを検討するにあたり確認したいのですが、商工会さんの方では起業を目指す方をサポートされていると思いますが、資格取得のサポートなどもされていますか？事業範囲が被っているといけないなと思ったのですが。
委員	商工会職員が資格を取るということはありますが、会員が資格を取るのに繋がる活動というのは特に行っていません。パソコンの操作とかの勉強会とかはありますがそれは入り口であって、そこから先はもっとやりたい方が勉強して資格を取るということはあると思います。サポートはしていますが、営利目的の講座とかは行っていませんね。
事務局	今回の場合は、まずこういう講座が女性対象である、ということが魅力だと思います。この講座があることで女性がじゃあ受けてみようと思いが動くことがまず大事ですし、結果よりもまずはそういう入り口を用意してお手伝いする、ということが必要なのではないのでしょうか。
事務局	ありがとうございます。現状市民協働課では行っていませんが、もし市内で同じ目的の講座などがあるといけないと思っていたので、特になんかということであれば安心しました。
事務局	来年度すぐというのは難しいですが、提案いただいた業者の方と調整し、魅力的な講座ができるか相談してみます。
会長	補助金や交付金の活用も検討した方がいいかもしれませんね。 日本は先進国の中でデジタル人材が致命的に少なく急務でありますから、男性もですが女性の人材を育成していかないといけませんね。

	<p>我々も、デジタルの波に置いて行かれないように使いこなさないといけません。高齢者の中でも男性は会社で使っていたりするので機械に強いですが、家庭でも機械を使ったことがない高齢女性は取り残されてしまいます。</p> <p>デジタル化は致し方ないですが、取り残されないように皆で一体になってやっていきたいですね。</p> <p>では、このデジタル講座についても事務局の方で引き続き検討をお願いします。</p>
<p>委員 会長</p>	<p>デジタル人材もですが、リケジョも増やしていかないといけませんね。</p> <p>理系女子というの、ウィルあいちの方で人材育成に関わっていて感じるのですが、女子が理系の学部に進む入り口がまず少ないんですね。しかも入ったとしても、途中でいっぱい落とし穴があってぼろぼろと零れ落ちていって最後までいけるのは僅か。一番少ないのは工学部でしょうか、農学部は少しずつ増えているようですけど。</p>
	<p>学校で進路指導がある時にも、男の子が理系科目が弱いと、先生は叱咤激励して理系に進めないぞと言いますが、女の子が数学理科が出来なくても何も言われない。この進路指導にも、アンコンシャス・バイアスがあるんですね。得意不得意ではなくて、男子は理系、女子は文系とイメージで振り分けられていく。そういう環境で育つと、女の子自身も数学理科が出来なくてもいいやと自主規制してしまいます。リケジョ、というのは少ないからリケジョと言われる訳で、そういうのが特別にならないようにしたいですね。</p> <p>では、これで今日の議題はだいたい話せたと思いますが、事務局どうですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>いろいろご紹介させていただきましたが、今回皆さんからたくさんいただいたご意見を参考に考えさせていただき、また事務局の方からご提案をさせていただこうと思いますので、その時はまたご意見を伺えればと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>それでは、会長さんにお返しします。</p> <p>お疲れ様でした。それでは、次のその他について事務局は何かありますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>3. その他</p> <p>その他について、事務局からお知らせします。</p> <p>次回の懇話会ですが、1～2月の開催を予定しています。</p> <p>今回持参いただいた「次年度以降の取り組みについて」の用紙は、回収させていただきますので、机の上に置いてお帰りください。</p>
<p>会長</p>	<p>その他については、以上です。</p> <p>その他について、ご質問などありますか。もしくは、委員の皆様から何かありますか。</p> <p>なければ、以上で、本日の懇話会を閉じさせていただきます。お疲れ様でした。</p>